

# 再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道 <small>あらぎかじのせん</small> 蘭鍛埜線				
事業箇所	愛知県岡崎市保久町 <small>ほっきゅうちょう なかいちょう</small> ～中伊町				
事業のあらまし	<p>一般県道蘭鍛埜線は、豊田市内の旧・下山村地域の国道 301 号と岡崎市鍛埜町地内の主要地方道・岡崎設楽線を結ぶ延長 8km の三河山間地域における路線であり、沿線には小学校や地域のコミュニティセンターが立地するなど、山間地域における重要な生活幹線道路である。また、現在、愛知県企業庁が用地造成を進めているトヨタ自動車の研究開発施設の周辺地域の利便性向上に向けても早期整備が強く望まれる路線でもある。</p> <p>当該事業区間の前後区間は、2 車線改良済みとなっているが、当事業区間は 1 車線幅の狭隘な道路であり、車のすれ違いも困難な状況となっている。山間地域の曲がりくねった当該区間は、通学路に指定されているが、十分な路肩も確保されていない中、通学児童は通行車両の脇を歩いており、通学児童等の交通安全面の向上も課題となっている。点在する小集落を結ぶ本路線は、日常生活上の移動のみならず、救急・消防、災害等緊急時における避難活動等の妨げとなっており、これらの課題を緊急に解消する必要がある。</p> <p>このことから、建設部方針 2020 の 11 の取組方針の内「山間や離島のなどの暮らしを支える基盤整備」「交通安全対策の強化」に対して、山間地域の道路ネットワーク形成を促すとともに、地域の安全で安心な生活基盤の向上を図るため、一般県道蘭鍛埜線の現道拡幅を行うものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 山間や離島の暮らしを支える基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2015 年)	再評価時 (2019 年)	変動要因の分析	
	事業期間	2015 年度 ～2023 年度	2015 年度 ～2027 年度	地元調整による変動 ・道路線形の変更	
	事業費（億円）	3.8	5.8		
	経費内訳	工事費	2.8	4.8	地元調整による変動 ・道路線形の変更
		用補費	0.3	0.3	
その他		0.7	0.7		
事業内容	現道拡幅 延長 L=1.6km 幅員 W=7.0m 2 車線	現道拡幅 延長 L=0.7km 幅員 W=7.0m 2 車線	事業効果の早期発現を目的とした工区分割によるもの		
II 評価					
①	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>1. 山間や離島の暮らしを支える基盤整備 本路線は、額田地域の生活幹線道路であるが、1 車線の現道狭隘区間では車のすれ違いが困難な状況であるとともに、現道の線形が不良で見通しも悪いことから、往来する人や車の安全性に課題があり、現道拡幅整備が必要である。</p> <p>2. 交通安全対策の強化 本路線は、通学路に指定されているが、十分な歩行空間が確保されておらず、安全性に</p>			

		<p>課題があるため、現道拡幅整備が必要である。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前評価時より必要性に変化はない。</li> </ul> <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前評価時より必要性に変化はなく、引き続き、整備の必要性がある。</li> </ul>																																																																																																																																																					
	判定	<p><b>B</b></p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。          B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。          C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性に変化はなく、引き続き、整備が必要である。</li> </ul>																																																																																																																																																					
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工 事</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>当初計画</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td>5.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延 長(km)</td> <td>1.6</td> <td>0.2</td> <td>13</td> <td>0.7</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>100</td> <td>5.8</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>  工 事 費</td> <td>1.1</td> <td>1.4</td> <td>127</td> <td>4.8</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>  用 補 費</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>50</td> <td>0.3</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>  そ の 他</td> <td>0.7</td> <td>0.5</td> <td>71</td> <td>0.7</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一部区間 (L=200m) については、2019 年度に供用開始</li> </ul>			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工 種 区 分	調査・設計	←→			←→											用地補償	←→			←→			←→								工 事		←→		←→				←→		←→					事業費 (億円)	当初計画		2.0					1.8							3.8	実績		2.0												2.0	今回計画		2.0					1.8				2.0			5.8		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗(%) 【②÷③】	延 長(km)	1.6	0.2	13	0.7	29	事業費(億円)	2.0	2.0	100	5.8	34	工 事 費	1.1	1.4	127	4.8	29	用 補 費	0.2	0.1	50	0.3	33	そ の 他	0.7	0.5	71	0.7	71
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																																																																																																							
	工 種 区 分	調査・設計	←→			←→																																																																																																																																																	
用地補償		←→			←→			←→																																																																																																																																															
工 事			←→		←→				←→		←→																																																																																																																																												
事業費 (億円)	当初計画		2.0					1.8							3.8																																																																																																																																								
	実績		2.0												2.0																																																																																																																																								
	今回計画		2.0					1.8				2.0			5.8																																																																																																																																								
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																			
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗(%) 【②÷③】																																																																																																																																																		
延 長(km)	1.6	0.2	13	0.7	29																																																																																																																																																		
事業費(億円)	2.0	2.0	100	5.8	34																																																																																																																																																		
工 事 費	1.1	1.4	127	4.8	29																																																																																																																																																		
用 補 費	0.2	0.1	50	0.3	33																																																																																																																																																		
そ の 他	0.7	0.5	71	0.7	71																																																																																																																																																		
	2) 未着手又は長期化の理由	<p>・ 道路線形の変更について、地元・関係機関との調整に日時を要したため。</p>																																																																																																																																																					
	3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路線形の変更については、地元・関係機関との調整に時間を要したが、現在は順調に進んでいること、地元住民・自治体より早期整備が要望されていることから、今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しであり、事業の実効性が確保されているため。</li> </ul> <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね 2027 年度までに整備が完了する予定である。</li> </ul>																																																																																																																																																					
	判定	<p><b>B</b></p> <p>A： 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。          B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・ これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○ これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																																																					

		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残る区間についても、今後、多少の阻害要因が見込まれるものの、一定期間を要すれば解決できる見通しがあり、概ね 2027 年度までに整備完了が見込まれるため。</li> </ul>
<p>Ⅲ 対応方針（案）</p>		
<p><b>継続</b></p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p> <input checked="" type="checkbox"/>対象（事業完了後 5 年目）    <input type="checkbox"/>対象外  <b>【事業完了後 5 年を越えて実施する理由・対象外の理由】</b>            —  <b>【主な評価内容】</b>            ・整備による交通の変化。視距確保、歩行空間の確保による安全性向上の状況。         </p>		